

平成29年度 指定管理者施設管理評価シート

部課名		福祉部	高齢福祉課
施設名称	(15) 東京都台東区立特別養護老人ホーム谷中	指定管理者	社会福祉法人 台東区社会福祉事業団
選定方法	<input type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 継続特例 <input checked="" type="checkbox"/> 非公募	指定期間	H27. 4. 1 ~ H32. 3. 31

1. 施設および事業の概要

(1)	[設置目的] 居宅において介護を受けることが困難な高齢者に対し、介護その他の日常生活上の世話、機能訓練、健康管理及び療養上の世話を行い、高齢者の福祉の向上を図る。
(2)	[所在地] 台東区谷中2-17-20 [規模] 延べ床面積 2,794.36㎡のうち2,351.4㎡ 鉄筋コンクリート造 地上3階地下1階 居室、食堂、浴室（機械浴、一般）、静養室、ボランティア室、談話室など
(3)	[委託事業] 入所者の健康管理、機能訓練、生活介助[食事、介護（排泄・入浴援助）]、地域ボランティア活動支援、年間防災訓練などの事業。併設事業として短期入所生活介護の運営。施設、付属設備及び物品の保全。施設内の清潔整頓等 [自主事業] 自主事業は行っていない
(4)	[利用者] 常時介護が必要で、自宅での介護が困難な要介護者 [利用料金制] <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> その他（ ）
(5)	[開館日・時間] 通年、24時間（平成28年度は改修工事実施のため平成28年7月～29年3月まで運営休止）
(6)	[人員体制] 5名（内訳）施設長（1）、事務員（1）、相談員（2）、栄養士（1） ※28年度は施設の大規模改修工事実施のため、上記は特別養護老人ホーム谷中開設準備室の人員体制

2. 予算決算		27予算	27決算	28予算	28決算
収入	委託料（指定管理料）	44,037,264	44,037,264	53,749,055	45,699,000
	利用料金収入	238,624,000	205,644,037	16,885,000	16,262,842
	その他収入（利用者等外給食費収入）	6,847,736	49,190,078	268,945	204,993
	計	289,509,000	298,871,379	70,903,000	62,166,835
支出	人件費	186,249,000	190,685,599	27,099,000	78,804,313
	光熱水費	17,615,000	15,384,071	8,145,000	3,696,233
	維持管理費（委託料・賃借料）	37,615,000	34,048,792	13,324,000	16,333,903
	修繕費	3,701,000	815,636	336,000	329,155
	事業費	0	0	0	0
	その他支出	44,329,000	34,117,882	21,999,000	23,345,403
	計	289,509,000	275,051,980	70,903,000	122,509,007
収支			23,819,399		-60,342,172

3. 活動指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
入所定員（ショートステイ含む）	人	56	56	56	36

4. 成果指標	単位	(目標値)30年度	26年度	27年度	28年度
利用率（特養＋ショート）	%	95	97.5	83.2	42.2
利用者数（特養＋ショート）	人	19,400	19,925	17,047	1,382

5. 前回評価の結果に対する、現在までの取り組み状況

改修工事に伴う利用者の移転の際には利用者やご家族に移転先施設の特徴や料金を丁寧に説明し、スムーズに移転が完了するよう尽力した。また、改修工事後の運営再開に向け、施設に開設準備室を設置し区及び利用者やそ
のご家族との連絡・調整を行った。

6. 評価の観点	
(20点) 水準を全て満たしている(年間通じて問題がなかった) (19~14点) 水準の範囲内である(一部軽微な課題あり) (13~12点) 水準をやや下回った (11点以下) 水準を大きく下回った	
(1) 管理の適正性	法令等の遵守、事業計画書・報告書等の作成・提出、職員配置、従業員の労働環境などの観点から、公の施設として、適正な管理体制及び運営が行われているかを評価する。
20 / 20 点	施設の運営にあたっては法令等を遵守し、適宜区との情報共有もなされている。また、28年度は施設の改修工事を実施したため、開設準備室を設置し区及び利用者やそのご家族等との連絡・調整を密に行った。
(2) 事業の運営	職員の対応、開館時間等の遵守などの観点から、施設の目的に合致した事業が展開できているかを評価する。
20 / 20 点	施設の事業計画や区の条例等に基づき、概ね良好な事業運営がなされている。定員数については、改修工事に伴う利用者の移転に対応し、効率的な運営を行うために定員数を20名減として運営した。
(3) 施設の維持管理	建物保守、清掃・衛生管理、施設の修繕などの観点から、施設の維持管理が適切に行われているかを評価する。
20 / 20 点	施設の備品や機器については日常巡回や定期的な点検を行い、破損しているものは適宜修繕を行うなど、適切な維持管理が行われている。改修工事前後は、施設内の備品の整理し区と共に備品の運搬作業を行った。
(4) サービス向上の取組み	利用者満足度調査、要望・意見等への対応、指定管理者の努力・意欲などの観点から、サービス向上に向けた取組みが積極的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	改修工事のため満足度調査は実施していないが、利用者の移転の際には利用者やご家族に移転先施設の特徴や料金を丁寧に説明し、スムーズに移転が完了するよう尽力した。
(5) 収入支出	予算執行、会計の管理などの観点から、収入支出が適正かつ効率的に行われているかを評価する。
20 / 20 点	改修工事に伴う大幅な利用料収入の減や本部会計繰入金支出が発生したことなどにより収支がマイナスとなった。ただし外的要因によるものであり全体的には適切な予算管理がなされている。

(6) 優れた取組み 《加点項目》 ※点数上限：10点	指定管理者の自主的な取り組みによる成果
点	

7. 総合評価	
極めて良好(110~101)・良好(100~91)・適正(90~70)・改善指示(69以下)	
良好 (100 / 110点)	<p>【所見】</p> <p>改修工事に伴う利用者移転の際には、利用者やご家族等に移転先施設の特徴や料金を丁寧に説明するなど、スムーズに移転が完了するよう尽力した。今後は運営再開に伴う再移転をスムーズに完了させるとともに、より良いサービスを提供できるよう取り組んでいく。</p> <p>【各項目20点に届かなかった主な要因・課題】</p>